

2004年 国際的華語特別集会 標語の歌

標語 1



主の かいふく の せいしつ たち場は 唯い



つ。 それはいのちなるキリストとかれのから だのい

標語 2



ち。 主の かいふく はいのちと しん理の



回ふくであり, そのいずれもキリストご自身。

標語 3



主の回ふくの三面, せい書のしんせいな

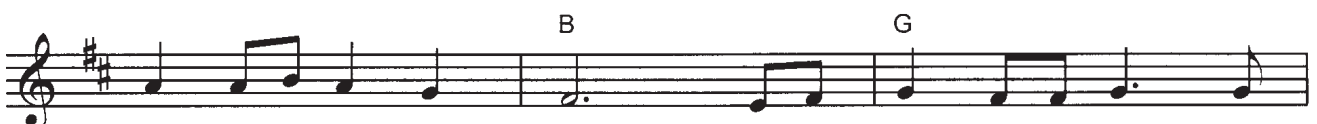


啓示,かみひとの生かつ,しょうかいのじっこうであ

標語 4



る。 かみひとのせいかつとバイタルグループと



よげんを実行し, キリストのからだを



建ぞうするひつ要有がる。

2004年国際的華語特別集会

標 語

主の回復は性質と立場において唯一です。
それは命としてのキリストと、
キリストのからだの一です。

主の回復は真理と命の回復であり、
真理と命はいずれもキリストご自身です。

主の回復の三つの面は、
聖書の神聖な啓示、
神・人の生活、
召会の実行です。

わたしたちは神・人の生活をし、
バイタルグループを実行し、
預言することを追い求めて、
キリストのからだを建造する必要があります。

今日の主の回復における緊急の必要

メッセージ 1

営所の外に出てイエスへと行く

聖書：出 33:7-11 . ヘブル 13:12-14

- . 主の回復は唯一です。もう一つのキリストのからだや、もう一つの新約がないように、もう一つの回復はありません。
- . 回復とキリスト教が調和一致することは不可能です。主の生ける証しと伝統的な教会との間に、調和一致の可能性はありません　　マタイ 13:31-33, 44-46 . 啓 18:4 . 19:1-3, 7-9 .　テモテ 3:15-16 .　テモテ 2:19-22 :
- A . 主の回復の背景はキリスト教ですが、キリスト教の特徴は混乱と分裂です　　創 11:1-9 .　コリント 1:10-13。
- B . 主の回復をキリスト教から区別するのは、わたしたちの性質と立場とによってです。それは、命としてのキリストとからだの一です　　コロサイ 3:4 . エペソ 4:3。
- C . 主の回復と伝統的なキリスト教との間には大きな溝があります。なぜなら、回復は完全に純粋な御言に基づいているからです。しかし、キリスト教は伝統に満ちているからです　　箴 30:5-6 . マタイ 15:3, 6 後半 . 13:31-32。
- D . わたしたちの間の歴史は、妥協することなく完全にキリスト教から出て来た歴史でした　　エズラ 1:1-11 . 啓 18:4。
- . 召会は神の幕屋、あるいは神の宮です(エペソ 2:21-22)。しかしながら、それは性質が変わって、天幕から営所になりました。今やわたしたちは「営所の外に出て」、イエスへと行くべきです　　ヘブル 13:13 :
- A . イスラエルの子たちが金の子牛を礼拝した後、モーセは彼の天幕を営所の外に移しました。主を追い求めるすべての人は、その場所に行ってモーセに会いました。なぜなら、主の臨在と語りかけがそこにあったからです　　出 33:7-11 :
- 1 . 金の子牛の偶像の原則は、物質的なものも霊的なものも、神からの賜物が、神の目的のために正しく用いられていないということです　　12:35-36 . 32:2-3 . 35:4-5, 21-24。
- 2 . 民は金の子牛の偶像を、それが自分たちをエジプトから連れ出した神であるかのように礼拝しました　　32:4-6 :
- a . 神の民は、神を礼拝するかのように偶像を礼拝しました。
- b . 贖われた民は金の子牛を、彼らの贖い主の御名の中で礼拝しました。彼らは神の御名の中で偶像を礼拝しました　　4 節。
- 3 . 金の子牛を礼拝することは、一種の娯楽、享楽でした。イスラエルの子たちはこの偶像で楽しんだのです　　6, 18-19 節。
- 4 . イスラエルの子たちが金の子牛を礼拝したことは、今日のクリスチャンの間での純粋でない礼拝の絵です　　4-6 節。
- 5 . 今日、多くの「アロンたち」がいます。すなわち、技術があり、能力があり、賜

物があり、才能がある多くのクリスチャン指導者がいます。彼らは神の御名において偶像を造り、これらの偶像を、神にささげられるべきささげ物と共に礼拝するよう人に教えています 1-6 節。

- B . モーセは、主の臨在がもはや民の間でないことを認識したので、自分の天幕を取り除いて、営所から離れた所に張りました。すると、彼の天幕は神の天幕となりました 33:7-11。
- C . 営所は、主に対して忠信でない一組の人々、特に、宗教的な人々を表徴します。実は、これらの民は主以外のものを礼拝し、追い求めています ヘブル 13:13 :
- 1 . 営所は、地的なものであり人のものである宗教組織を表徴します。
 - 2 . あらゆる宗教は人の組織であり、地的な領域であって、人々を神のエコノミーから引き離します テモテ 1:4。
 - 3 . 営所の外に出るとは、主が拒絶されて追い出された宗教から出て来ることです ヘブル 13:12-14。
- D . 神の民の歴史において、営所は少なくとも三つの時期に見られます :
- 1 . 営所はまず、金の子牛を礼拝した後のイスラエルの子たちでした 出 33:7。
 - 2 . 主が地上で生活していた時、ユダヤの宗教は営所となりました マタイ 15:7-9。
 - 3 . 召会は性質が変わって天幕から営所に、すなわち、宗教組織、宗教のバビロンになりました 13:31-32 . テモテ 2:19-22 . 3:5。
- E . この現在の時代、キリスト教は天幕ではなく営所です ヘブル 13:13 :
- 1 . これは、召会が墮落してキリスト教になったことを意味します 啓 2:12-15。
 - 2 . 原則的に、キリスト教は宗教的な体系であり、宗教的な人々から成っています。彼らは名だけで主に属していて、口先では主を敬いますが、その心は主以外のものに付いています マタイ 15:8-9 . テモテ 3:5 . 啓 17:3-5 . 18:2 前半, 4。
- F . 召会の歴史によれば、真に主を追い求める者は、組織化されたキリスト教から離れなければなりません。すなわち、営所を離れ、営所の外で主へと行かなければなりません ヘブル 13:12-14 . テモテ 2:19-22。